

# 肥満症治療薬が来年早々に発売



## 日本初

ダイエッタしたいが、基礎代謝が衰えているせいか、食べ物を我慢しても、運動してもなかなか痩せられない。そんな肥満に悩む人に朗報だ。日本初の脂質吸収を抑える肥満症治療薬「セチリスタット」（商品名オブリーン）が来年早々にも登場する見通しだ。

### 1年間で6・7キロ痩せた！

「新しい薬は体内で脂肪

て、体内への脂肪の吸収

を分解する酵素（リバーゼ）を抑えて体重を減らすと

ぜ）を働かないようにしいうもの。BMI（体重

指数）では体重減少の効果は

2%だった。

「なんだ、たかがそれつぱっちか」と思う人もいるだろうが、これはあくまでも平均。人によっては7%近く減量に成功した人もいたという。

「飲酒・喫煙の習慣のある44歳の女性は1日3回、1年間この薬を服用したところ、ウエスト103センチが100センチ、体重を身長の2乗で割った数値）が25以上の肥満症で、糖尿病と脂質異常症のある人に適用されます」

こう言うのは糖尿病専門医で、「 shinクリニック（東京・蒲田）の辛浩基院長だ。

製薬会社が約200人を対象に1年間行った治

験では体重減少の効果は

81%が74・3%、8・2%

%だったヘモグロビンA1cが6・5%に減少しました。中性脂肪も17

mg/dlから88に減少し

たのです」（辛院長）

ちなみにこの女性は薬を飲んだ1年間は、よくに食事も変えず、運動もしていなかつたという。それだけ薬の効き目が凄いということだ。

問題は排便時の便器がベトベトに

問題は脂肪便だ。このだし、慣れれば薬の力を実感できるため、他の薬はあつても、セチリス

タットのように、肥満症

の治療薬は他にない。

肥満は中高年の大きな悩みであり、太った人の減量はあらゆる健康の基

本。それだけに大いに期待されるいいはずだが、発売にはストップがかかっているという。

「既に9月に厚生労働省の製造販売承認を受けており、11月の中央社会保険医療協議会（中医協）

で薬価が決まり、年内の発売が予定されていたのです。ところが、その中医協で、体重100kgの人なら2%しか減らない

満の解消を目

これまで肥

りやないか。肥満は病必要はない。保険で賄うが噴出、価格が決まらなかつたのです」（厚労省関係者）

。食欲に負けて勝手に太ったくせに、それを税金で補助された薬で治すといふのはおかしい。との気持ちはわからなくな

いが、それなら病院の減量のための食事指導、運動指導はどうなのが?

そちらも保険適用を取り消すべきじゃないのか? 少は糖尿病や脂質異常症そんな疑問も出てくる。

「私は体重の減少率が大きくなりからといって効果がないことは思いました。脂肪が便器に詰まる感じで、スル

くないからといって効果がないまま痛や腰痛の改善も期待でない中高年の気持ちを酌んで欲しいところだが:

痩せたくても痩せられ

れば、それが励みになつて食事療法や運動療法に限らず、あらゆる面で努めると思われるからで

るからです。例えば、膝

痩せたくても痩せられ

れば、それが励みになつて食事療法や運動療法に限らず、あらゆる面で努めると思われるからです。別の糖尿病専門医

「私は体重の減少率が大きくなりからといって効果がないことは思いました。脂肪が便器に詰まる感じで、スル

くないからといって効果がないまま痛や腰痛の改善も期待でない中高年の気持ちを酌んで欲しいところだが:

痩せたくても痩せられ